



2015年3月期(平成27年3月期)

# 第2四半期決算説明会

2014年11月26日



証券コード:7408

# 技術のジャムコは、 士魂の気概をもって

- 一、夢の実現にむけて挑戦しつづけます。
- 一、お客様の喜びと社員の幸せを求めています。
- 一、自然との共生をはかり、豊かな社会づくりに貢献します。

- この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。
- この資料における数値は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。したがって、決算短信、有価証券報告書など、表示桁未満を切捨てにて作成、表示している資料とは末尾数値が異なる箇所がございますのでご了承ください。
- 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複製することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。

## Contents

### I 2015年3月期 第2四半期決算の状況

グループ各社の状況 (FY14/上期) .....	4
業績概要 (連結) .....	5
売上高 (連結) .....	6
経常利益 (連結) .....	7
第2四半期 決算のポイント .....	8
貸借対照表 (連結) .....	9
減価償却費/設備投資額/試験研究費 (連結) .....	10

### II 2015年3月期 通期見通し

売上高/経常利益 (連結) .....	12
売上高/経常利益 (連結四半期) .....	13

### III 経営環境と今後の対応

経営環境と市場動向 .....	15
ジャムコ中期ビジョン .....	16
中期経営計画の課題 .....	17
内装品セグメント/機器製造セグメント /整備セグメント	

# 2015年3月期 第2四半期決算の状況

CATEGORY	グループ各社の状況 (FY14／上期) .....	4
	業績概要 (連結) .....	5
	売上高 (連結) .....	6
	経常利益 (連結) .....	7
	第2四半期 決算のポイント .....	8
	貸借対照表 (連結) .....	9
	減価償却費／設備投資額／試験研究費 (連結) .....	10



【単位:百万円】

	当社	新潟 ジャムコ	宮崎 ジャムコ	ジャムコ アメリカ	ジャムコ エアロデザイン エンジニアリング	ジャムコ フィリピン	ジャムコ シンガポール	ジャムコ エアロ マニファク チャリング	徳島 ジャムコ	ジャムコ エアロテック	その他	シンガポール ジャムコ サービス
売上高	30,945	1,722	1,227	6,352	380	231	778	475	369	201	0	1,520
営業利益	2,847	133	9	△ 32 (180)	93	50	△ 35	△ 24	24	9	9	116
経常利益	3,488	143	8	△ 20 (191)	94	48	△ 41	△ 25	24	9	9	116
当期純利益	2,339	91	5	△ 13 (126)	84	44	△ 43	△ 17	15	5	6	96

(注1)「その他」はオレンジジャムコ、ジャムコテクニカルセンターの合算値です。

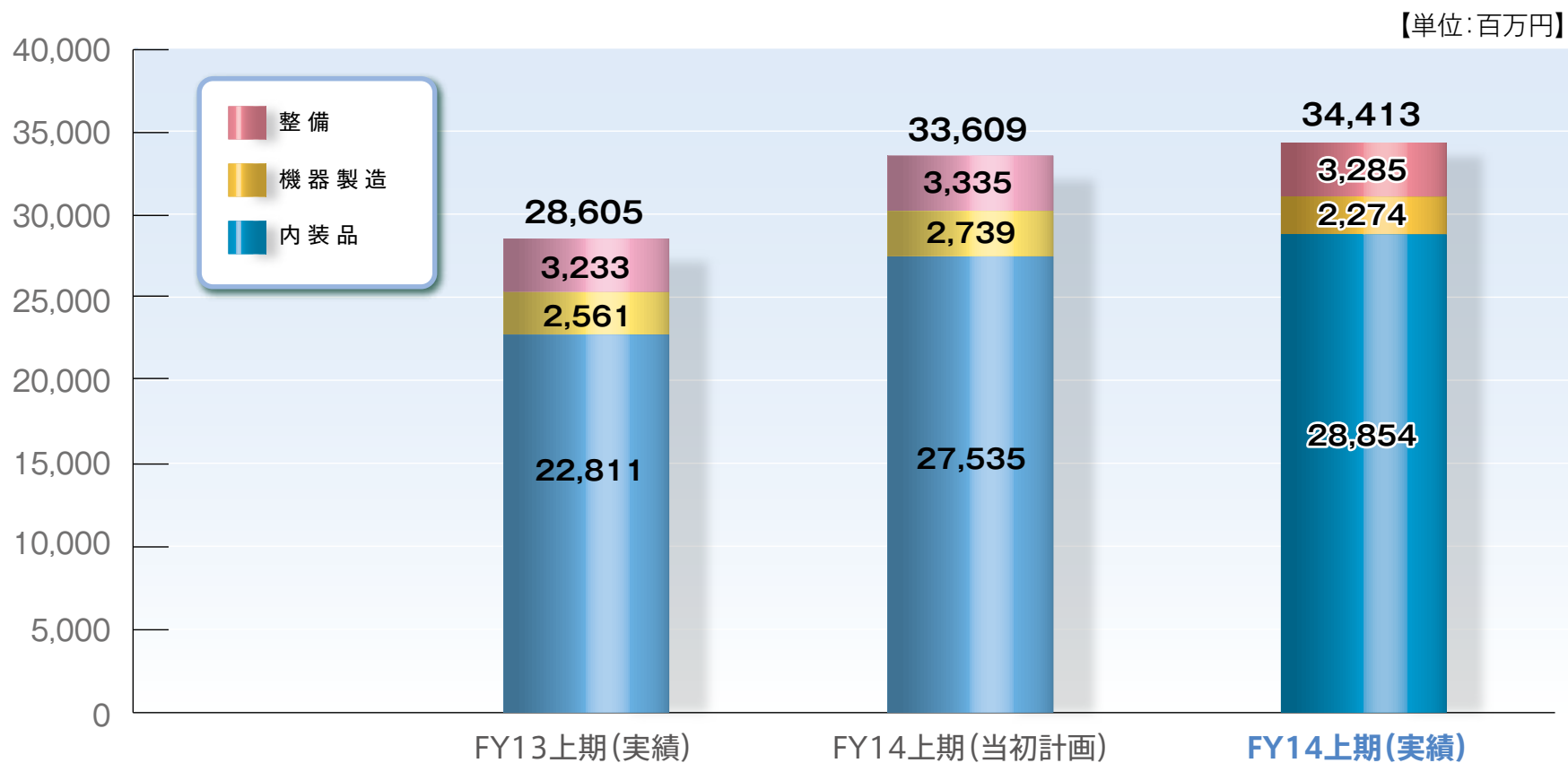
(注2)シンガポールジャムコサービスは持分法適用関連会社です。

(注3)ジャムコアメリカは787関連開発費の償却について当社と同じ基準で会計処理しています。括弧内の数値は「米国基準」における数値です。

【単位:百万円】

	FY14上期 実績	FY13上期 実績	前年同期比	FY14上期 当初計画	計画比
売上高	34,413	28,605	+20%	33,609	+2%
営業利益	3,137	1,046	+200%	2,821	+11%
経常利益	3,596	1,156	+211%	2,531	+42%
税引前当期純利益	3,990	962	+315%	2,528	+58%
当期純利益	2,539	604	+320%	1,535	+65%
1株当たり 当期純利益(円)	94.64	22.51	—	57.22	—
売上為替レート (円/USドル)	102.45	97.52	—	100.00	—

(注) 当初計画とは、2014年5月8日の決算発表時の業績予想数値です。



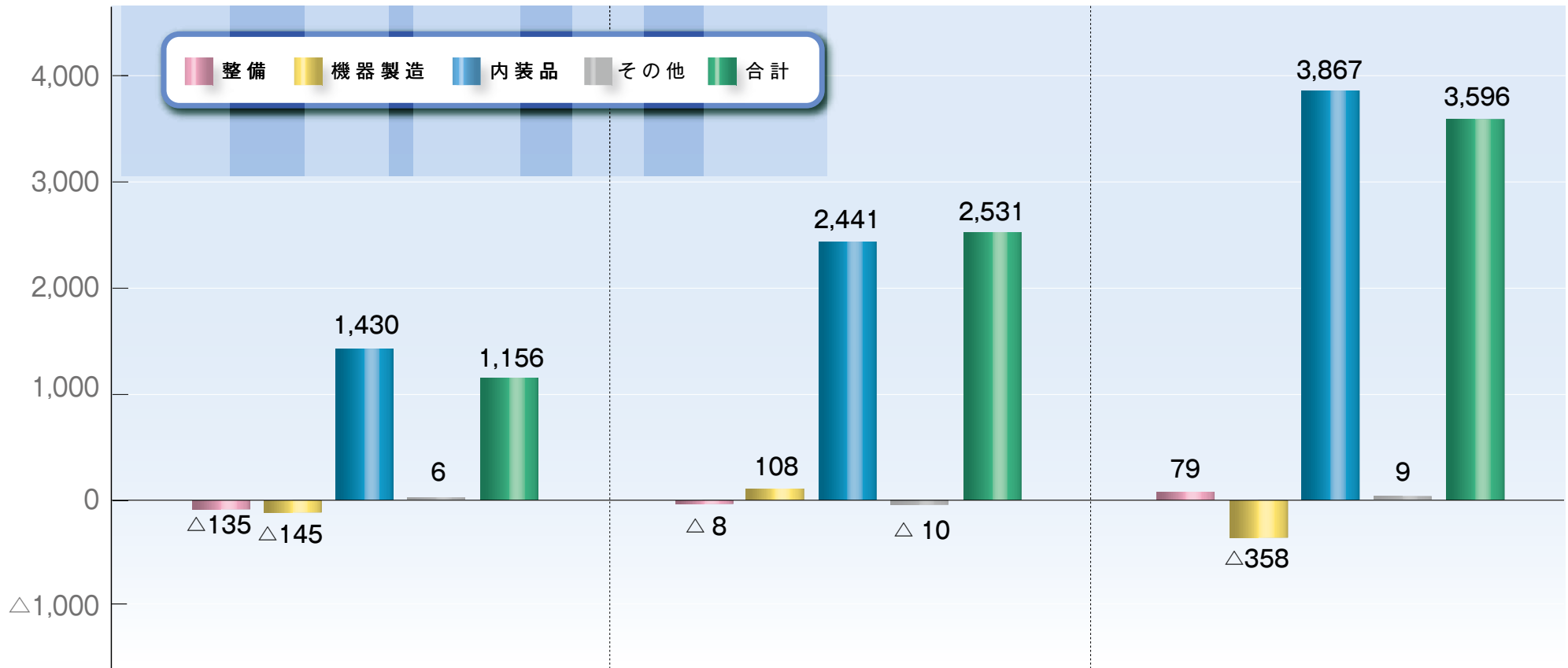
## POINT

## FY14当初計画対比

- 内装品はスペアパーツ及び、ラボトリー等のSFE関連の販売が好調で増加／円安による外貨建て売上高の増加
- 機器製造は顧客先の都合による防衛関連部品の受注不足により減少
- 整備は装備品整備の生産量は伸びたが、機体整備のスケジュール変更により下期への出荷繰り越しが発生し減少

(注) 当初計画とは、2014年5月8日の決算発表時の業績予想数値です。

【単位:百万円】



FY13上期(実績)

FY14上期(当初計画)

FY14上期(実績)

POINT

FY14当初計画対比

- 整備は装備品整備の増加と整備事業全体の操業度改善により利益を確保
- 機器は防衛関連部品の受注不足の影響、新規品の初期コスト増加の影響により減少
- 内装品は売上為替レートが円安に振れたことにより増加

(注) 当初計画とは、2014年5月8日の決算発表時の業績予想数値です。

## 前年同期比

【単位:百万円】

	FY14 上期 実績	FY13 上期 実績	差異
経常利益	3,596	1,156	2,440
売上総利益	7,042	4,162	2,880
販管費	3,906	3,116	790
営業外損益	460	110	350

## 当初計画比

【単位:百万円】

	FY14 上期 実績	FY14 上期 当初計画	差異
経常利益	3,596	2,531	1,065
売上総利益	7,042	7,080	△ 38
販管費	3,906	4,259	△ 353
営業外損益	460	△ 290	750

(注)当初計画とは、2014年5月8日の決算発表時の業績予想数値です。

## POINT

## ● 前年同期比

- 売上総利益： 787開発費償却負担の減少により増加  
 ジャムコアアメリカの業績回復による増加  
 売上為替レートが円安に振れたことによる増加
- 販管費： 増産に伴う人員増、ジャムコシンガポール連結子会社化による増加  
 試験研究費、保証工事費の増加
- 営業外損益： FY13上期為替差益 (Net) 1.4億円、FY14上期為替差益 (Net) 4.8億円

## ● 当初計画比

- 売上総利益： 内装品は円安効果により売上総利益がプラスですが、  
 防衛関連部品等の納期のずれによる影響で若干減少
- 販管費： 試験研究の進捗遅れにより減少
- 営業外損益： FY14上期当初計画 (Net) △2.8億円、FY14上期為替差益 (Net) 4.8億円



【単位:百万円】

科目	FY14 2Q 末 2014年9月30日現在	FY13 末 2014年3月31日現在
〈資産の部〉		
流動資産		
現金及び預金	2,569	1,589
● 受取手形及び売掛金	17,673	19,663
● 棚卸資産	34,037	29,203
その他流動資産	5,748	4,714
流動資産合計	<b>60,027</b>	<b>55,169</b>
固定資産		
有形固定資産	12,685	10,881
無形固定資産	1,142	1,167
投資その他の資産	4,265	4,431
固定資産合計	<b>18,092</b>	<b>16,479</b>
資産合計	<b>78,119</b>	<b>71,648</b>

【単位:百万円】

科目	FY14 2Q 末 2014年9月30日現在	FY13 末 2014年3月31日現在
〈負債の部〉		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,008	10,779
短期借入金	21,832	20,774
その他流動負債	12,997	11,372
流動負債合計	<b>46,837</b>	<b>42,925</b>
固定負債		
長期借入金	2,039	2,507
その他固定負債	7,554	6,525
固定負債合計	<b>9,593</b>	<b>9,032</b>
負債合計	<b>56,430</b>	<b>51,957</b>
〈純資産の部〉		
純資産合計	<b>21,688</b>	<b>19,691</b>
負債及び純資産合計	<b>78,119</b>	<b>71,648</b>

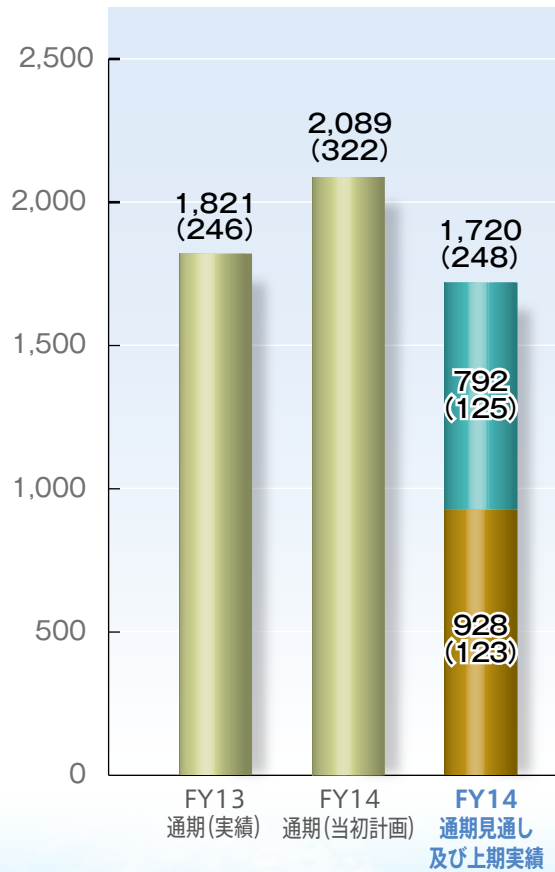
## POINT

- 債権流動化等により売掛金の増加を抑制
- 仕掛や在庫のコントロールにより、棚卸資産の増加抑制に努めたが、787関連内装品増産、シート事業本格参入に伴い増加

【単位:百万円】

### 減価償却費(連結)

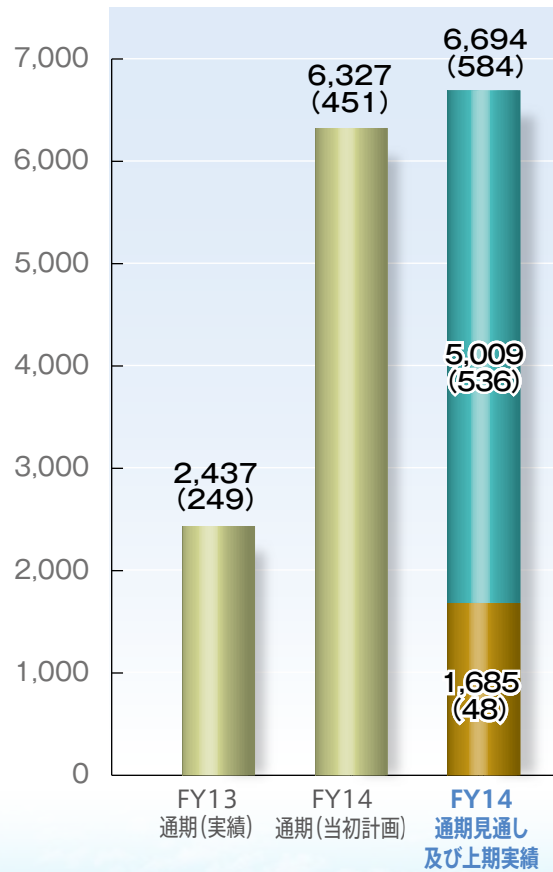
■下期 ■上期



【単位:百万円】

### 設備投資額(連結)

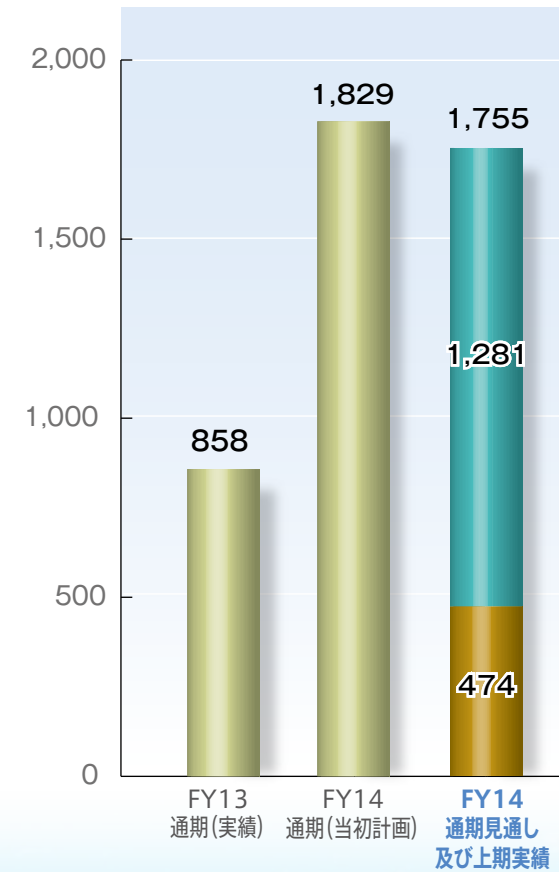
■下期 ■上期



【単位:百万円】

### 試験研究費(連結)

■下期 ■上期

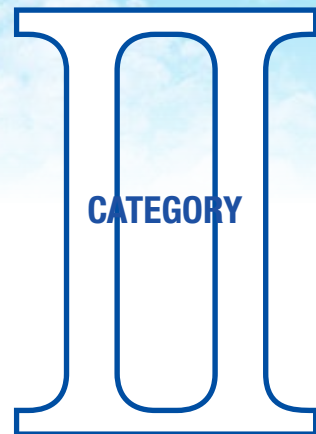


( )内はリース資産分

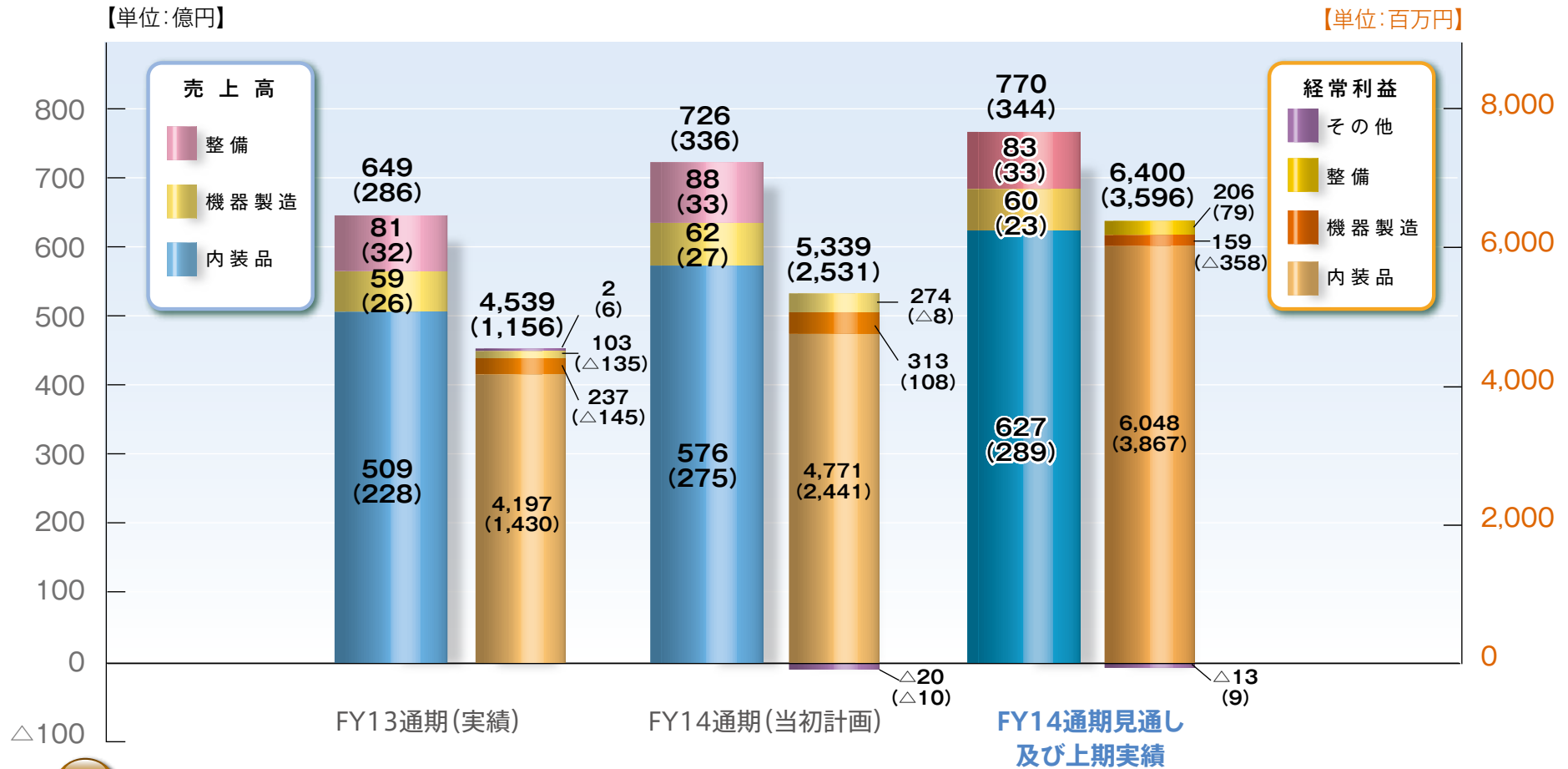
設備投資には( )内の全リース物件を含む

(注) 当初計画とは2014年5月8日の決算発表時の業績予想数値です。通期見通しの上期は実績値です。

# 2015年3月期 通期見通し



売上高/ 経常利益 (連結) .....	12
売上高/ 経常利益 (連結四半期) .....	13



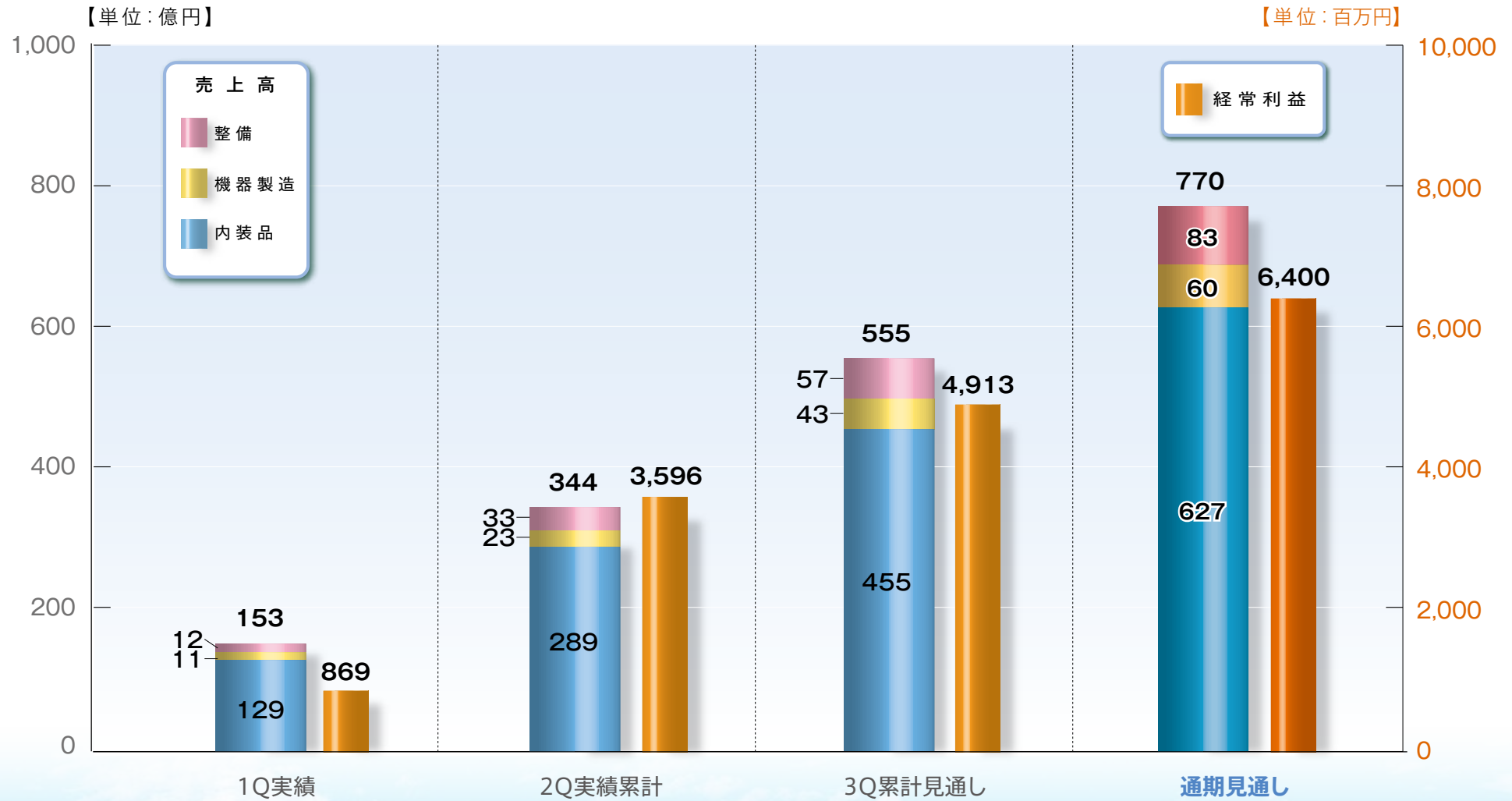
**POINT**

- 下期以降の想定為替レートは当初計画100円/USドルから105円/USドルに変更
- 内装品は新造機向け内装品の受注が好調、スペアパーツ販売も堅調に伸びて売上・利益ともに増加する見込
- 整備、機器製造の売上高・利益が減少するものの、スペアパーツ販売の増加と円安の影響等により増益

( ) 内数値は上期を示す。

(注) 当初計画とは2014年5月8日の決算発表時の業績予想数値です。通期見通しの上期は実績値です。





# 経営環境と今後の対応

III CATEGORY	経営環境と市場動向.....	15
	ジャムコ中期ビジョン.....	16
	今後の課題と対応.....	17
	● 内装品セグメント.....	17
	● 機器製造セグメント.....	18
	● 整備セグメント.....	19

- 米国の景気が好調に推移、中国も穏やかな拡大基調、欧州及び日本も穏やかな回復基調にあり世界景気は堅調に推移
- 国内経済は円安の後押しもあり輸出関連企業の業績が向上したが、GDP 2四半期連続マイナスにより不透明感が残る
- 航空業界はLCCの台頭が著しく、競争激化で厳しい事業環境にあり、大手航空会社はLCCとの競合路線に新会社を設立するなどの対応を進めている
- 航空会社は経営環境の変化のなか運航性に優れる新型旅客機への代替、機内サービスの充実を進めている
- 為替相場は上期102円/ドル周辺で推移しており、このまま円安水準が続くとの見方が大勢
- こうした事業環境において当社の中期的な売上高は拡大基調にある

## 中期ビジョン

- 航空機分野に特化し、内装品事業を基軸に、機器製造、航空機整備の機能を併せ持つオンリーワンの航空機総合企業を目指す。

## 中期経営方針

- オンリーワンに相応しい『強い会社』
  - 連結経常利益率: 7%以上
  - 連結ROA: 7%以上
- 『強いジャムコ』の第二章は、『飛躍』
  - 2018年度連結売上高1,000億円に向け成長戦略を実行
  - 2014年度中期経営計画中に連結売上高850億円を目指す



- ① 技術革新の追求と商品競争力の強化**
  - プロダクトイノベーション室の創設
  - 生産技術、デザイン、素材を含む研究開発の強化
  
- ② サプライチェーンを強化し、品質、コスト、納期の一層の改善**
  
- ③ 顧客への提案力強化とジャムコブランドの確立による世界シェアNO.1の確保**
  - 革新的なデザインによる航空機内装品とキャビン全体の設計
  - 軽量、高品質、快適な機内空間の提供

- ① 新会社の生産体制を定着させ、事業全体の生産性を向上**
  - 改善活動を推進し、応需能力と収益性を高める
  
- ② ADPの受注拡大**
  - 新規受注、顧客開拓に努める
  
- ③ 従来品の輸出を実現**
  - 「武器輸出三原則」の緩和から、「防衛装備移転三原則」に
  - ビジネスチャンスを的確に捉え売上拡大を目指す
  
- ④ 研究開発を加速し、成果を実現**
  - 海外での共同開発も含め、開発を推進し技術力を高める

## ① 新機種受注の促進

- 固定翼機に加え、回転翼機の整備事業を強化
- 小型、中型リージョナル機の整備事業の強化

## ② 海外市場・新規ビジネスへの進出

- 海外からの装備品整備の受注

## ③ 整備能力をものづくりに活用

- 内装品カンパニーのカスタマーサービスセンター設立への参画
- 内装品設計における整備性、耐久性関連ノウハウの提供



2015年3月期

# 第2四半期決算説明会 添付資料

## Contents

---

### IV 会社概要

企業グループ概要.....	21
事業概要.....	22

### V 経営環境と市場動向..... 28

### VI 機体メーカーの受注・納入状況

ボーイング・エアバス2014年実績.....	30
------------------------	----

### VII 中長期の市場動向

世界の航空旅客予測.....	33
ジェット機の運航機材構成予測.....	34





## 航空機内装品カンパニー①

### 航空機用ラバトリー(化粧室)の製造

- ボーイング747-8・767・777・777X・787向け  
ラバトリーを独占供給



### 航空機用ギャレー(厨房設備)の製造

- ボーイング747-8・777・787・767・737に搭載
- エアバスA380・A330・A340・A320に搭載
- 世界の航空会社約100社へ納入
- 787向けギャレーを独占供給
- エアバスA380向けギャレーの指定業者



### 航空機用フロアパネル(客室床板)の製造

- ボーイング社より777型機向けに単独一括受注



## 航空機内装品カンパニー②

### 航空機用シート事業

- エアバス向けA350 ACS (Airbus Contracted Supplier) シート  
商品名Journey® ビジネスクラスシート  
開発中、新規顧客獲得済み
- シンガポール航空向けファースト、ビジネスクラス  
ボーイング777-300ER用ファースト、ビジネスクラス、製造中



### 航空機改修事業

- FAAよりODA認証を取得 (ジャムコアアメリカ)  
設計から完成まで、航空機客室改修の耐空証明をFAAに代わって実施することができます
- 改修実績  
客室内装備品の新規搭載や配置換え、キャビンクルーの休憩室搭載など数多くの改修実績があります
- EASA Design Organization Approval (DOA)を取得(ジャムコアエアロデザインエンジニアリング)  
ジャムコアアメリカと同様、欧州航空安全庁の認定を取得しており世界中の機体改修の依頼に対応できます





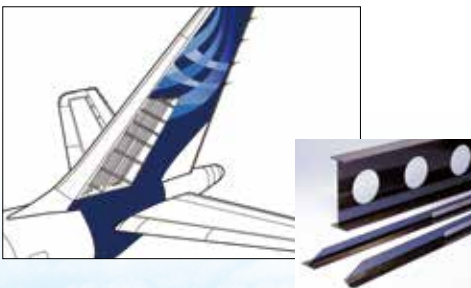
## 航空機器製造カンパニー



航空機用熱交換器及び  
各種航空機搭載機器の製造



ジェットエンジン部品の製造



航空機用炭素繊維構造部材 (ADP) の製造

- エアバスA380用2階床構造部材
- エアバス全機種 of 垂直尾翼構造部材



## 航空機整備カンパニー



**防衛省・海上保安庁・国土交通省航空局  
・航空大学校・エアラインなどの航空機  
・装備品整備事業**

- 中型・小型航空機及びヘリコプターの整備・改造
- リージョナル機の整備
- プロペラ、脚、航空電子機器の整備
- 車輪、ブレーキ、救難用ホイス（吊り上げ装置）のオーバーホール
- 大型旅客機客室内装備品の整備





(注) 出資比率はグループ出資比率

## 航空機メーカーの動向 (2014年9月末時点)

### ● ボーイング社の受注残機数

狭胴機 4,033 機 (前年同期3,467機)

広胴機 1,519 機 (前年同期1,320機)

### ● エアバス社の受注残機数

狭胴機 4,748 機 (前年同期4,176機)

広胴機 1,159 機 (前年同期1,123機)



## 新型旅客機の開発・生産状況

### 777Xの開発状況

- 2016年生産開始、2020年に初号機引き渡し予定
- 2014年9月末日現在、受注残機数は286機

### 787の生産状況

- 2014年9月末日現在、193機の引き渡しを完了
- 2014年9月末日現在、受注残機数は861機

### A380の生産状況

- 2014年10月末日現在、144機引き渡し完了
- 2014年10月末日現在、受注残機数は174機

### A350XWBの開発状況

- 初号機の年内引き渡しに向け最終調整
- 2014年10月末日現在、受注残機数は750機

### A320neoの開発状況

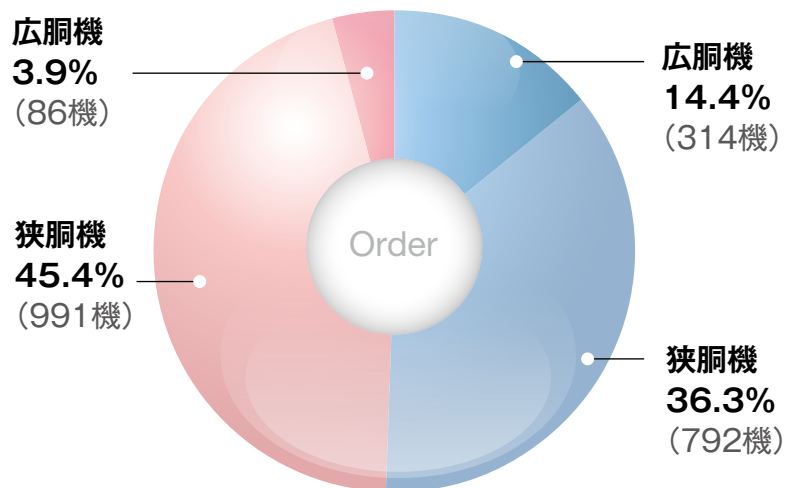
- 2015年10月ー12月に初号機引き渡し予定
- 2014年10月末日現在、受注残機数は2,494機

(注) 受注データについてはボーイング社、エアバス社HPより

(2014年1月～9月累計)

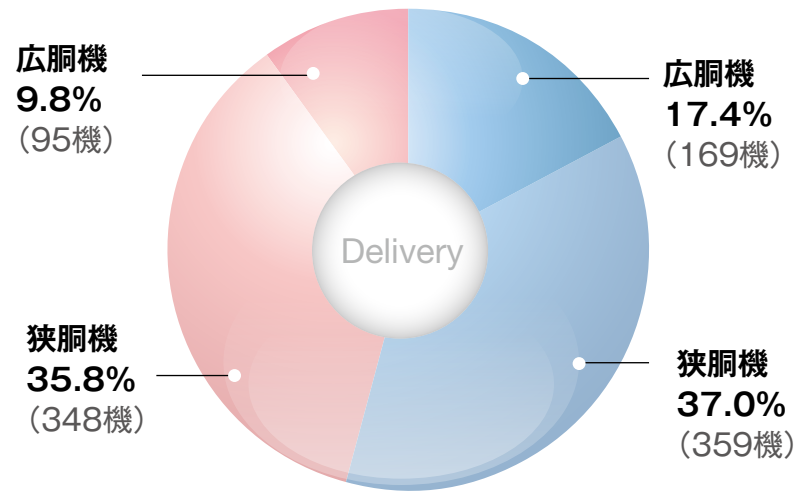
受注状況

● エアバス社 **49.3%** (1,077機)  
 ● ボーイング社 **50.7%** (1,106機)



納入状況

● エアバス社 **45.6%** (443機)  
 ● ボーイング社 **54.4%** (528機)



出所：Speed News Home Page 「COMMERCIAL JET PROGRAM STATUS REPORT : SEPTEMBER 30, 2014」

	受 注	納 入	受 注 残
ボーイング合計	1,106	528	5,552
<b>747</b>	1	12	42
<b>777</b>	261	75	566
<b>787</b>	48	79	861
<b>767</b>	4	3	50
<b>737</b>	792	359	4,033

(注) ■色の機種は広胴機 (ワイドボディー機) を示す。

出所 : Speed News Home Page 「COMMERCIAL JET PROGRAM STATUS REPORT : SEPTEMBER 30, 2014」

	受 注	納 入	受 注 残
エアバス合計	1,077	443	5,907
<b>A380</b>	20	21	175
<b>A350</b>	20	0	750
<b>A330</b>	46	74	234
<b>A321</b>	135	104	554
<b>A320</b>	840	219	4,149
<b>A319</b>	16	25	45

(注) ■色の機種は広胴機 (ワイドボディ機) を示す。

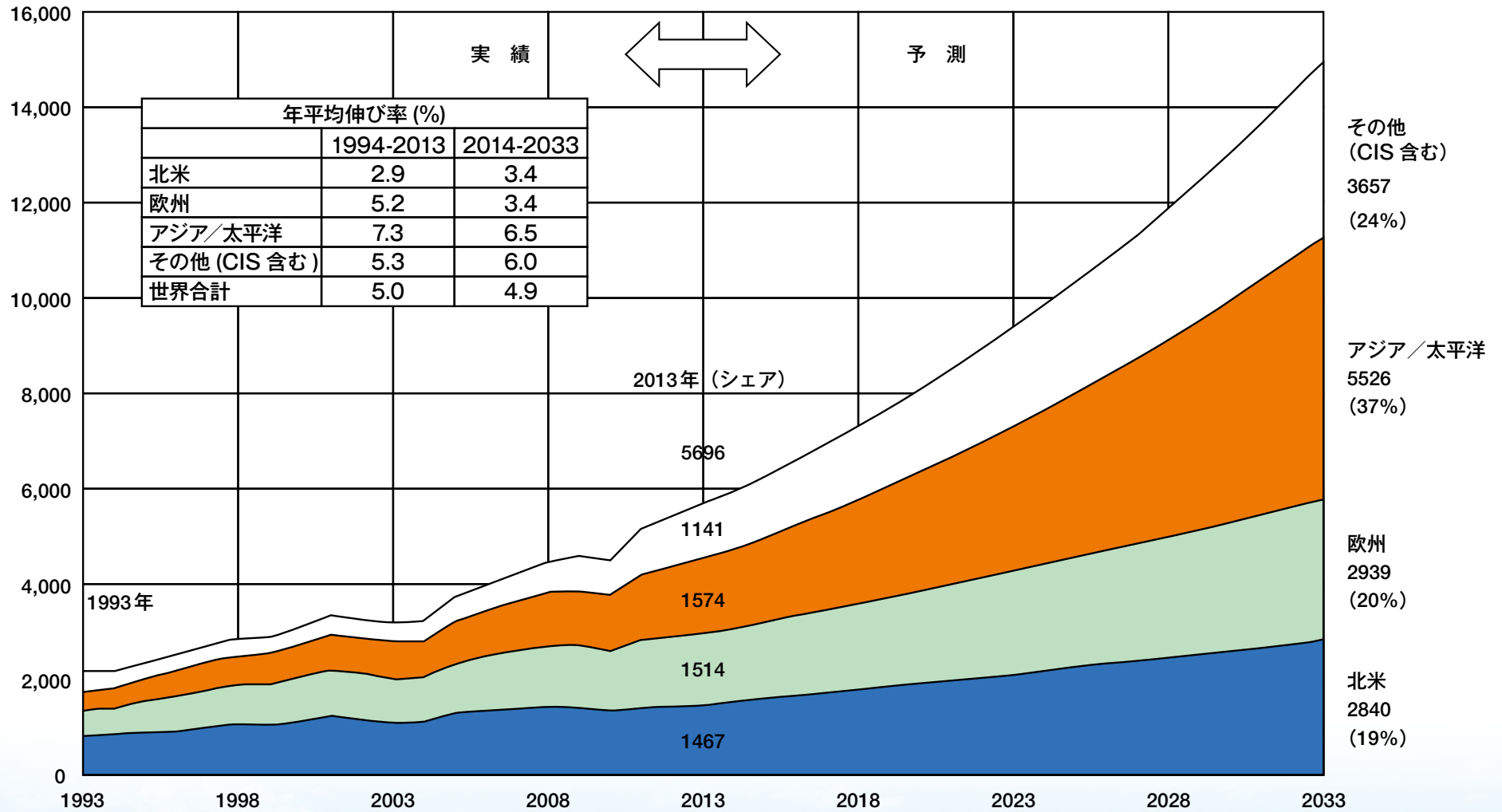
出所 : Speed News Home Page 「COMMERCIAL JET PROGRAM STATUS REPORT : SEPTEMBER 30, 2014」



有償旅客キロ  
(10 億人・キロ)

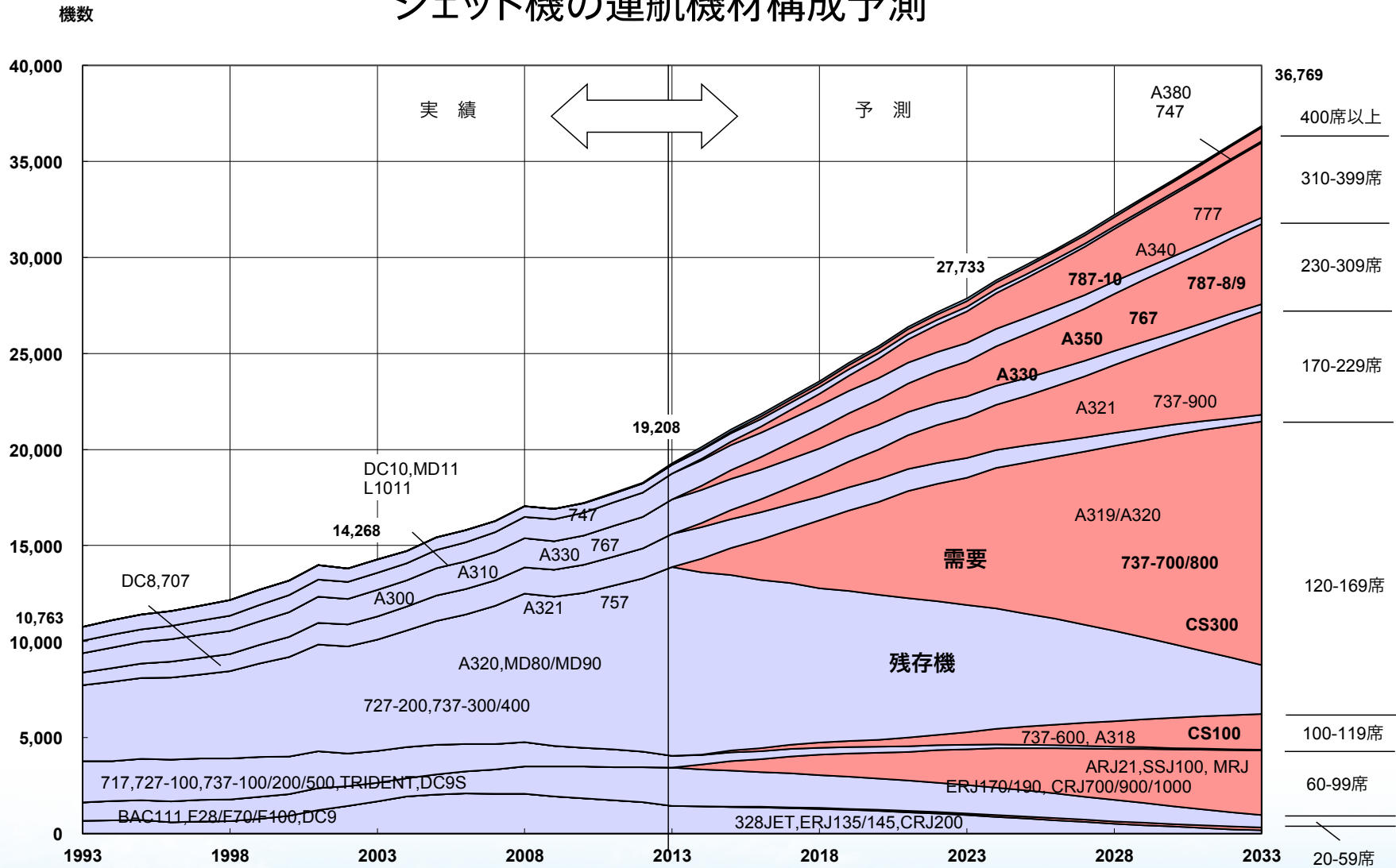
世界の航空旅客予測

2033 年 (シェア)  
世界合計 14962



出所: (財)日本航空機開発協会「平成25年度民間輸送機に関する調査研究」

ジェット機の運航機材構成予測



出所: (財)日本航空機開発協会「平成25年度民間輸送機に関する調査研究」

技術を翼に世界の空へ

 **Jamco**  
ALWAYS FLY TOGETHER



*Always Fly Together*